

早春対談

田村厚生労働大臣に聞く



あべ かず ひこ



たむら のり ひさ

日身連 会長 **阿部 一彦** × **田村 憲久** 厚生労働大臣

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、楽しみにしていた田村憲久厚生労働大臣との早春対談が、大変残念ながら叶いませんでした。そこで、お会いした時にお伺いしたかったさまざまなことについて、1月に文書で交換させていただきました。田村大臣には新型コロナウイルス対策の最前線の中にあつてご対応いただきましたことに深く感謝申し上げます。



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
テアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

厚生労働大臣に就任されて

阿部：平成24年に厚生労働大臣にご就任され、今回、6年振りのご就任となります。自由民主党では厚生労働部会長や、衆議院の厚生労働委員長を担われてきた田村大臣に、私たち日身連としても、障害者権利条約のスローガンでもある“Nothing about us, without us(私たちのことを、私たち抜きに決めないで)”の考えのもとで、障害者と一緒に連携した取組の結果として、充実した障害者施策が積み上げられていくことに一層の期待をもっているところではあります。そのことをお伝えし、こうして大臣と早春対談を迎えさせていただけれることに感謝しております。

田村：昨年9月に菅政権の厚生労働大臣を拝命し、約4ヶ月が経過しましたが、今回再び、国民の生活を生涯にわたって支える厚生労働行政を担当することになり、改めて、身の引き締まる思いです。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組むとともに、全世代型社会

保障の構築や、多様な働き方が選択できる働き方改革を進めてまいります。

障害福祉分野においても、新型コロナウイルス感染症による様々な影響が生じているものと考えていますが、最前線で感染リスクとも向かい合い、障害のある方に対し継続して支援を行っていただいていることに改めて、感謝申し上げます。

厚生労働省においては、令和3年度障害福祉サービス等報酬改定に向けて、昨年12月に基本的な方向性をお示したところであり、これを踏まえ、感染症等への対応力の強化等につかり取り組んでまいります。

皆様お一人おひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となるよう心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大が あたえた影響について

阿部：新年ですので、未来志向の話題から入りたいと思うところですが、やはり一番の関心事でもある新型コロナウイルス感染症について伺わせていただけますでしょうか。

昨年1月30日に日本政府に新